

Pioneer

マルチプレーヤー

CDJ-2000nexus

CDJ-2000

CDJ-900nexus

「Serato DJ」 接続ガイド

「Serato DJ」と接続する

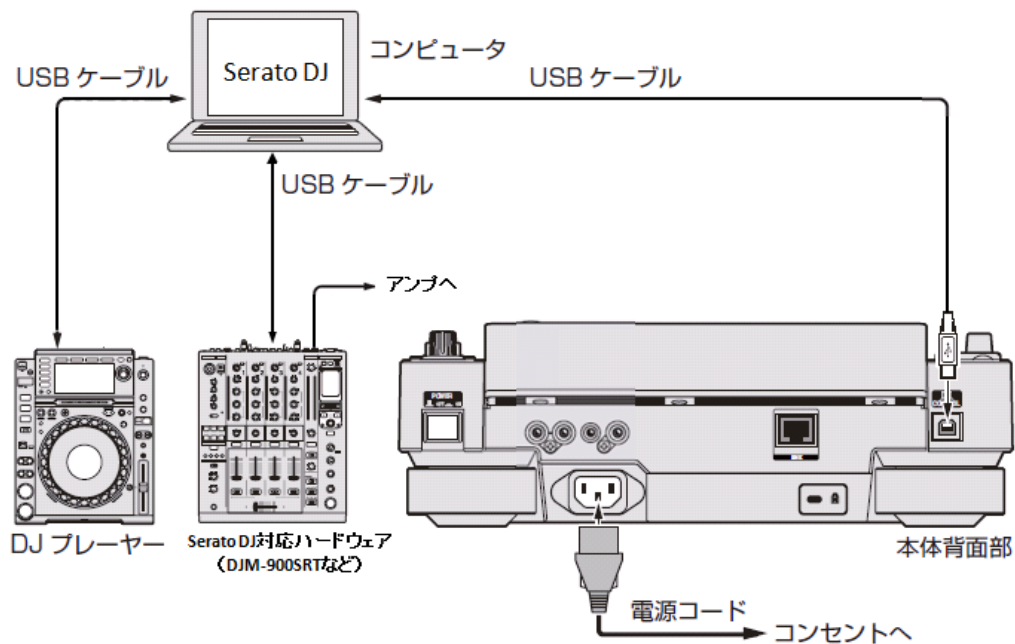
準備すること

- 「Serato DJ」と正しく接続するには、お使いのCDJのファームウェアを最新バージョンにアップデートしてください。ファームウェアのアップデートの方法については、弊社WEB サイト (<http://pioneerdj.com/support/>) をご参照ください。
- 「Serato DJ」を最新バージョンにアップデートしてください。アップデートの方法・動作環境などについては、Serato社のWEB サイト(<http://serato.com/>) をご参照ください。
- CDJ1台につき、USB ケーブルが1本必要になります。

接続のしかた

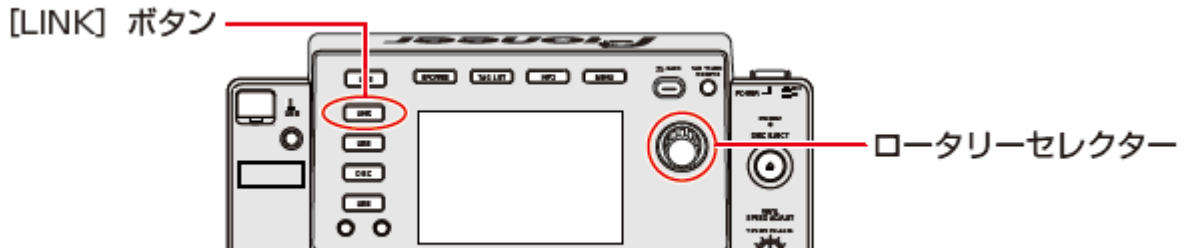
CDJとコンピュータを、USBケーブルで接続します(使用する台数分※)。

※ 「Serato DJ」は、CDJを最大4台まで接続できます。



「Serato DJ」のコントローラーとして使用する

接続が完了したら、各機器の電源を入れます。つぎに以下の手順でCDJを設定してください。



- 1 CDJ-2000をお使いの場合、CDJの[MENU]ボタンを1秒以上押して、[UTILITY]モードに入ります。ロータリーセレクターを使って[HID SETTING]の[ADVANCED]を選択します。ロータリーセレクターを押すと決定です。[MENU]ボタンを押して、[UTILITY]モードを終了します。
- 2 CDJの[LINK]ボタンを押して、「CONTROL MODE」の「USB MIDI」を選択します。ロータリーセレクターを押して決定します。CDJが「Serato DJ」に認識されます。
- 3 CDJの本体表示部に「DECK:1?」と表示されますので、ロータリーセレクターを回して、コントロールするデッキ1～4を選択します。ロータリーセレクターを押すと決定です。
- 4 「Serato DJ」のVirtual deckをInternal mode(INT)にします。

以上の設定で、CDJで「Serato DJ」をコントロールすることが可能になります。

CDJのボタンで「Serato DJ」を操作する

デフォルトの設定はつぎのとおりです。

■ CDJ-2000nexus



CDJ-2000nexus Control		Function
1	PLAY/PAUSE	再生のオン/オフを切り替えます。
2	CUE	CDJ のCUE ボタンと同様に、キューポイントの設定をしたり、キューポイントに戻ったりできます。
3	SEARCH	早送り/早戻し。
4	TRACK SEARCH	次のトラックの先頭に進みます。 / 再生中のトラックの先頭に戻ります。
5	JOG DIAL	スクラッチやピッチベンドなどの操作ができます。
6	DIRECTION	Censor のオン/オフを切り替えます。
7	SLIP	スリップモードのオン/オフを切り替えます。
8	REC/CALL	ホットキュー記録モードに切り替えます。
9	IN	ループインポイントを設定します。ループ再生中に押すとループインポイントを調整でき、もう一度押すとループインポイントの調整を終了します。
10	HOT CUE A/B/C	キューポイント に移動します。記録モードのときは、キューポイントを現在の再生位置にセットします。 ※キューポイントがセットされていない場合は、記録モードでなくても、キューポイントを現在の再生位置にセットします。
11	TIME MODE	経過時間と残り時間の表示を切り替えます。
12	QUANTIZE	クオンタイズのオン/オフを切り替えます。
13	SOURCE SELECT	使用メディアを選択します(rekordbox/LINK/USB/SD/DISC)。

14	OUT	ループアウトポイントを設定します。ループ再生中に押すとループアウトポイントを調整でき、もう一度押すとループアウトポイントの調整を終了します。
15	BROWSE	ライブラリーをブラウズします。
16	RELOOP/EXIT	ループ再生に戻る（リループ）、またはループ再生を解除します。
17	LOOP MODE	1小節分のループをオンにします。
18	INFO	トラック情報を表示します。
19	BACK	ボタンを押すごとにカーソルがLibrary とCrates を移動します。
20	TAG TRACK/REMOVE	選択されている曲をPrepareパネルに追加します。
21	DISC EJECT	現在の曲をアンロードします。 ※ CDJ に入っている CD も排出されます。
22	ロータリーセクター	ライブラリーをスクロールします。ロータリーセクターを押すと選択された曲の読み込み、もしくはカーソル位置への移動ができます。
23	NEEDLE SEARCH	ニードルサーチパッドに指でタッチして曲をスクロールできます。
24	TOUCH/BRAKE ADJUST	再生が停止するまでの速度を調整します。
25	CUE/LOOP CALL	次または前のループスロットに移動します。
26	RELEASE/START ADJUST	通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
27	MEMORY	現在のループスロットを上書きしないようにロックします。
28	JOG MODE	ジョグダイヤルのモードを切り替えます。
29	JOG ADJUST	ジョグダイヤルの回転負荷を調整します。
30	BEAT SYNC	SYNC: Syncをオンにします。 MASTER: Syncをオフにします。
31	TEMPO	テンポの可変範囲、+/-6、10、16、100 % を切り替えます。
32	DELETE	現在のループスロットを削除します。
33	MASTER TEMPO	キーロックのオン/ オフを切り替えます。
34	TEMPO スライダー	ピッチスライダーを調整します。
35	TEMPO RESET	ピッチをゼロにリセットします。



CDJ-2000 Control		Function
1	PLAY/PAUSE	再生のオン/オフを切り替えます。
2	CUE	CDJ のCUE ボタンと同様に、キューポイントの設定をしたり、キューポイントに戻ったりできます。
3	SEARCH	早送り/早戻し。
4	TRACK SEARCH	次のトラックの先頭に進みます。 / 再生中のトラックの先頭に戻ります。
5	JOG DIAL	スクラッチやピッチベンドなどの操作ができます。
6	DIRECTION	Censor のオン/オフを切り替えます。
7	REC/CALL	ホットキュー記録モードに切り替えます。
8	IN	ループインポイントを設定します。ループ再生中に押すとループインポイントを調整でき、もう一度押すとループインポイントの調整を終了します。
9	HOT CUE A/B/C	キューポイント に移動します。記録モードのときは、キューポイントを現在の再生位置にセットします。キューポイントがセットされていない場合は、記録モードでなくても、キューポイントを現在の再生位置にセットします。
10	TIME MODE	経過時間と残り時間の表示を切り替えます。
11	SOURCE SELECT	使用メディアを選択します(LINK/USB/SD/DISC)。
12	OUT	ループアウトポイントを設定します。ループ再生中に押すとループアウトポイントを調整でき、もう一度押すとループアウトポイントの調整を終了します。
13	BROWSE	ライブラリーをブラウズします。
14	RELOOP/EXIT	ループ再生に戻る (リループ)、またはループ再生を解除します。
15	4 BEAT LOOP	1小節分のループをオンにします。
16	INFO	トラック情報を表示します。
17	BACK	ボタンを押すごとにカーソルがLibrary とCrates を移動します。

18	TAG TRACK/REMOVE	選択されている曲をPrepareパネルに追加します。
19	ロータリーセクター	ライブラリーをスクロールします。ロータリーセクターを押すと選択された曲の読み込み、もしくはカーソル位置への移動ができます。
20	DISC EJECT	現在の曲をアンロードします。 ※ CDJ に入っている CD も排出されます。
21	NEEDLE SEARCH	ニードルサーチパッドに指でタッチして曲をスクロールできます。
22	TOUCH/BRAKE ADJUST	再生が停止するまでの速度を調整します。
23	CUE/LOOP CALL	次または前のループスロットに移動します。
24	RELEASE/START ADJUST	通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
25	MEMORY	現在のループスロットを上書きしないようにロックします。
26	JOG MODE	ジョグダイヤルのモードを切り替えます。
27	JOG ADJUST	ジョグダイヤルの回転負荷を調整します。
28	TEMPO	テンポの可変範囲、+/-6、10、16、100 % を切り替えます。
29	DELETE	現在のループスロットを削除します。
30	MASTER TEMPO	キーロックのオン/ オフを切り替えます。
31	TEMPO スライダー	ピッチスライダーを調整します。
32	TEMPO RESET	ピッチをゼロにリセットします。

■ CDJ-900nexus



CDJ-900nexus Control	Function
1	PLAY/PAUSE 再生のオン/オフを切り替えます。
2	CUE CDJ のCUE ボタンと同様に、キューポイントの設定をしたり、キューポイントに戻ったりできます。
3	SEARCH 早送り/早戻し。
4	TRACK SEARCH 次のトラックの先頭に進みます。 / 再生中のトラックの先頭に戻ります。
5	JOG DIAL スクラッチやピッチバンドなどの操作ができます。
6	DIRECTION 曲の再生方向を切り替えます。
7	SLIP スリップモードのオン/オフを切り替えます。
8	IN ループインポイントを設定します。ループ再生中に押すとループインポイントを調整でき、もう一度押すとループインポイントの調整を終了します。
9	BEAT DIVIDE ループ・ロールの操作ができます。
10	QUANTIZE クオンタイズのオン/オフを切り替えます。
11	TIME MODE 経過時間と残り時間の表示を切り替えます。
12	USB STOP 使用しません。
13	SOURCE SELECT 使用メディアを選択します(rekordbox/LINK/USB/DISC)。
14	OUT ループアウトポイントを設定します。ループ再生中に押すとループアウトポイントを調整でき、もう一度押すとループアウトポイントの調整を終了します。
15	BROWSE ライブラリーをブラウズします。
16	RELOOP/EXIT ループ再生に戻る (リループ)、またはループ再生を解除します。
17	4-BEAT LOOP 1小節分のループをオンにします。
18	INFO トラック情報を表示します。(1秒間押し続けます。)

19	BACK	ボタンを押すごとにカーソルがLibrary とCrates を移動します。
20	TAG TRACK/REMOVE	選択されている曲をPrepareパネルに追加します。
21	DISC EJECT	現在の曲をアンロードします。 ※ CDJ に入っている CD も排出されます。
22	ロータリーセクター	ライブラリーをスクロールします。ロータリーセクターを押すと選択された曲の読み込み、もしくはカーソル位置への移動ができます。
23	TOUCH/RELEASE ADJUST	再生が停止するまでの速度を調整します。
24	CUE/LOOP CALL	次または前のループスロットに移動します。
25	MEMORY	現在のループスロットを上書きしないようにロックします。
26	JOG MODE	ジョグダイヤルのモードを切り替えます。
27	DELETE	現在のループスロットを削除します。
28	BEAT SYNC	SYNC:Syncをオンにします。 MASTER:Syncをオフにします。
29	TEMPO	テンポの可変範囲、+/-6、10、16、100 % を切り替えます。
30	MASTER TEMPO	キーロックのオン/ オフを切り替えます。
31	TEMPO スライダー	ピッチスライダーを調整します。

・「Serato DJ」は、Serato Audio Research 社の登録商標です。

© 2014 パイオニア株式会社 禁無断転載